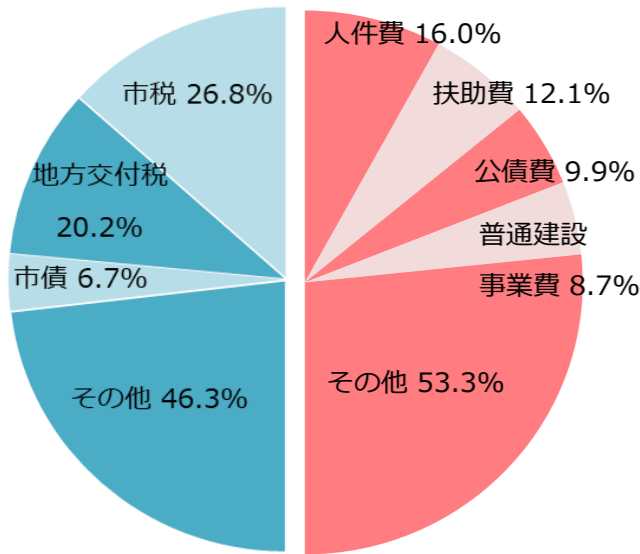


# ～安心子育て・縁を紡ぐ～

## 令和6年度 中野市 一般会計 当初予算案

総額 247 億円

※表示単位以下、四捨五入



市税 (住民税・固定資産税など)	66億円	↓ 1.3%
地方交付税 (国から配分される税金)	50億円	↓ 2.0%
市債 (借金)	17億円	↓ 57.5%

### 主な支出

主な使途

支出種別	主な使途	金額	5年度当初比
民生費	障がい者・高齢者・児童	82億円	↑ 15.6%
総務費	企画・財産・徴税・戸籍	31億円	↓ -47.0%
土木費	道路・河川・公園	29億円	↓ -8.4%
公債費	借金の返済	25億円	↑ 1.9%
商工費	商工業・観光	20億円	↑ 9.7%
教育費	学校・給食・図書館	20億円	↑ 8.0%
衛生費	健康・生活環境	15億円	↑ 3.6%
農林水産業費	農業・林業	14億円	↑ 8.3%

### 新たな試み！資源活用 ゼロ予算事業を展開

財政状況が厳しさを増す中で、事業予算を使わずに今ある設備や人材を最大限に活用し、本来業務とはひと味違った事業を展開していきます。

- ・お出かけ市長室～まちづくり意見交換会の開催
- ・教育相談コーディネーターによる不登校支援
- ・高齢者向けスマホ講習会の開催
- ・起業・事業拡大支援チームの設置
- ・YouTube活用による情報発信 etc.

## 子育て支援の拡大、膨らむ安心

### 学校給食費を最大6割軽減に拡大

令和5年度で3割から5割軽減にした市内小中学校の児童生徒の給食費を、物価高騰に伴う学校給食費の単価見直しに対応し、さらに実質最大6割軽減にすることで、保護者の経済的負担の軽減を図り、より一層子育て施策を充実します。

この他に、従来0歳から15歳までが対象であった医療費給付は、対象年齢を18歳まで拡大します。（「子ども医療費給付金事業」）

また、子どもの出生前の段階から、葉酸サプリメントの提供（「健康をこどもにつなぐ事業」）や生活環境の変化に対応する知識等の習得機会の提供など（「もうすぐパパママ教室」）、子育ての不安を減少できるよう支援します。保育園では、遊戯室にも空調設備を設置し園児が安心して快適に遊べる環境を整え（「保育所遊戯室空調設備設置事業」）、令和5年度に整備したDX環境を保護者の利便性の向上と保育士の負担軽減のため引き続き活用を図り、より良い保育環境に繋がります。その他の主な子育て支援策は次のとおり。

- ・オプショナル新生児スクリーニング検査費用助成事業（新規）  
「原発性免疫不全症」「脊髄性筋萎縮症」の検査費用を助成
- ・CAP（子どもへの暴力防止）プログラム事業（新規）  
児童、保護者、教職員を対象としたワークショップの実施
- ・小・中学生スポーツ活動事業補助金（新規）  
大会出場に要する参加費の一部補助
- ・使用済み紙おむつ回収事業（継続）

### 災害に備える

令和6年能登半島地震を受けて、多目的に活用できるブルーシートなどを追加備蓄し、パレットやかご台車などを購入し、備蓄品の保管環境の最適化に努め、災害時には迅速な搬出入が行えるよう取り組みます。

新たに導入する「地域情報配信システム」では、災害情報の伝達手段としての役割も担い、市民の皆さんは、スマホを活用することで、逃すことなく正確かつ迅速に災害情報を受け取れるようになります。

また、住宅では、安全性向上のため、耐震改修費の補助を継続させ、農業では、風雪被害に備え、耐候性のあるハウスや果樹棚等の整備費の補助を新たに行い、道路や水路では、浸水被害等に備え、引き続き計画的に補修や整備などを行い、災害に備えたまちづくりを推進します。

## 繋がる多様性・新たな縁を生む

### 選択できる第3の居場所、誰にでも

不登校の子どもが安心して過ごせる居場所として利用できるよう、フリースクールの利用料の一部を補助します。（「フリースクール利用者助成事業」）

「図書館リニューアル整備事業」として、遊具などを置いた見守りと交流ができる"動"の空間と、仕事や勉強を集中してできる"静"の空間を作り、小さい子どもを連れた子育て世代を含め、幅広い世代が集える居場所を創出します。

子ども以外でも、eスポーツを活用して誰も集える場所、高齢者の外出・交流できる場所を創出する「多世代交流可能な3rdプレイス創出事業」を展開し、また、障がい者が利用できるアーチェリー場の整備を引き続き進め、様々な人が繋がり、新たな縁となる機会を提供することで、地域の支え合いを促進し、市民一人ひとりが繋がり、国内外とも繋がるまちづくりを目指します。

## 縁から発信する中野市の魅力

### 縁で生まれる交流・関係人口

令和6年度には、中山晋平先生を題材とした映画公開の記念事業、高野辰之博士作詞の唱歌誕生110周年の記念事業や、ソソラホール開館の記念事業を展開し、ソソラホールでは本市出身の作曲家、久石讓氏によるコンサートを開催するほか、同じく本市出身の漫画家、宮島礼吏氏との「タイアッププロモーション戦略事業」を展開するなど、市で紡がれてきた縁そしてこれから紡がれる縁により、市の魅力ある取り組みを国内外に効果的に発信し、交流人口及び関係人口の創出・拡大を促進し、地域の活性化を図ります。

また、個人の縁だけでなく、企業立地の促進や雇用機会を創出し、地域の活性化を図るとともに、そこから税収の増加に繋がるよう、企業に対する助成事業（「中野市商工業振興条例」）によるインセンティブを広く周知していきます。

